

『学校はあるのですか』という保護者からの問
にもかかわらず、学校からのメールがないの
た。このメールはあくまでも補助的なもので
指示を待って行動するのではなく、生徒手帳

アドレスは、緊急メールや、ホームページで、
合にのみ、使用してください。平常時の学校
ません。

「緊急メール」を配信する。ホームページに
記載する。個別に電話連絡をする。

「安否・被災状況確認専用メールアドレス」
に書き込む。電話で連絡する。

ま、2日間続けて気象警報が発令され、臨時休
起きるかわかりません。常に自分自身で「ど
とを意識してほしいと思います。

アル（地震・津波発生時）

（室）

	備 考
机の下にもぐり机の 、 （の始末） 放送の指示を待つ） の恐れ）	緊急地震速報（数秒後） 震度速報（90秒後） 津波警報（3分後） 津波情報（5分後） に発表される。

(2) 第1次避難

生徒の行動	備考
① 放送による避難経路の指示に従う。(安全が確保できた場合火災と地震の避難経路は原則同じである。)	◎負傷者がいる場合は助け合う。
② 避難場所については、原則的に本校グラウンドの中央部とする。	◎けが人がいる場合は止血など応急処置
③ 「押さない、走らない、喋らない、もどらない」(おはしも)	
④ クラスごとに集合	
⑤ 委員長(又は副委員長)は点呼し、確認した人数と不在者の氏名を誘導責任者(担任等、不在の時は年次主任)に連絡する。	

(3) 第2次避難

生徒の行動	備考
① 大津波警報発令の場合は教師の指示に従い速やかに3階以上の教室に移動する 津波到達までに90分あるので落ち着いて「押さない、走らない、喋らない、もどらない」(おはしも)で避難する 1年次生は2号館の中央階段を通過して4階のHR教室へ 2年次生は2号館の中央階段を通過して3階のHR教室へ 3年次生の1組は3号館の中央階段を通過して4階の大講義室へ、2組、3組は社会科教室へ移動する。 ※津波は何度も襲来するので警報が解除になるまで待機すること	◎本校は地域の一時避難所として計画されている。

(4) 教室以外の学校での地震発生時の対応

場 所	具体的行動
運動場	できるだけ建物やフェンスから離れた中央へ。
特別室等	実験中であれば危険物から離れる。
体育館	体育器具や窓ガラスから離れ中央部に集まる。頭部を保護し姿勢を低くする。
プール	プールのふちに移動し、プールのふちをつかむ。
廊下や階段	近くの教室の机の下にもぐる。
トイレ	ドアを開き、頭部を保護する。
中 庭	危険性のあるものから離れる。(外壁や窓ガラス)体を低くする。

①
②
③
④
⑤
⑥

①
②
③
<
①
②
③